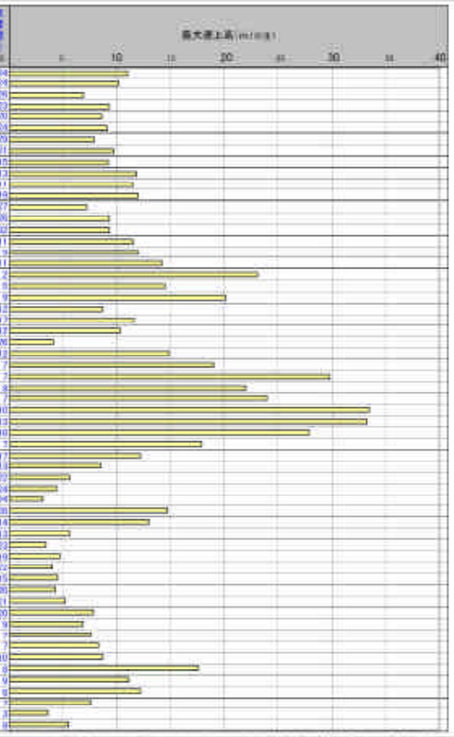
津波浸水予測図【全体図】

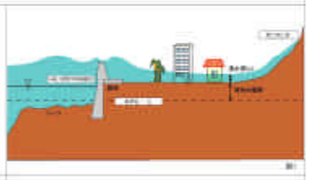
位置図【宮古・八重山諸島】

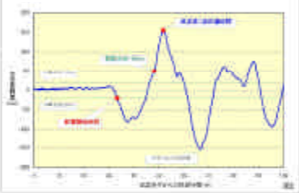
市町村名	島名	代表地点	最大遡上高（m）市町村	市町村内順位	津波到達時間（分）市町村
宮古島市（平良）	宮古島	吉野海浜	11.0	4	34
		島尻海浜	10.3	2	29
	大神島	大神	6.9	3	25
	池間島	池間	9.3	4	27
	宮古島	大浦湾	8.8	4	25
		平良港	9.1	13	24
宮古島市（下地）	宮古島	与那覇湾	7.3	11	29
	来間島	来間港	9.1	13	31
宮古島市（上野）	宮古島	砂川	8.2	5	15
宮古島市（城辺）	宮古島	友利	11.8	3	13
		保良	11.5	2	11
		渡口浜海浜	12.0	3	10
宮古島市（伊良部）	伊良部島	佐良浜	7.2	8	27
		佐和田	9.3	5	26
		伊良部	9.3	10	27
多良間村	多良間島	新城海	11.5	5	11
		塩川海浜	12.0	7	9
	水納島	水納港	18.1	2	11
石垣市	石垣島	平野	25.1	1	2
		平久保	14.8	6	5
		船越海浜	20.1	2	9
		野底	6.7	8	13
		浦底湾	11.3	3	11
		川平湾	10.3	5	12
		名蔵湾	6.1	2	26
		石垣港	14.8	12	12
		登野城漁港	19.0	5	7
		大浜	29.8	4	7
		崎枝湾	22.0	3	8
		白保	24.0	2	9
		大浦	35.5	1	10
		伊野田	33.3	3	12
		伊原間	27.9	1	10
		新城	17.9	1	7
竹富町	竹富島	竹富東港	12.2	12	17
		カイジ浜	8.5	12	13
	西表島	浦内	5.4	11	23
		干立	4.4	12	24
		船浮港	3.1	10	24
		豊原港	14.7	11	28
		南風見	10.0	10	14
		祖納港	5.4	10	13
		古見	3.4	10	23
		高那	4.7	12	19
		船浦	4.9	11	22
	鳩間島	鳩間港	4.3	12	15
	小浜島	小浜港	4.3	10	20
		細崎海浜	5.2	11	21
	黒島	ピムマ崎	7.8	11	20
		黒島港	6.8	9	9
		仲底	7.5	8	7
		黒島東岸	5.1	8	7
	新城島	上地	8.7	7	10
		下地	17.8	6	8
	波照間島	波照間漁港	11.7	6	9
		波照間空港	12.2	6	9
		南牟田	7.4	5	8
与那国町	与那国島	久部良漁港	3.8	1	8
		比川	5.3	1	8



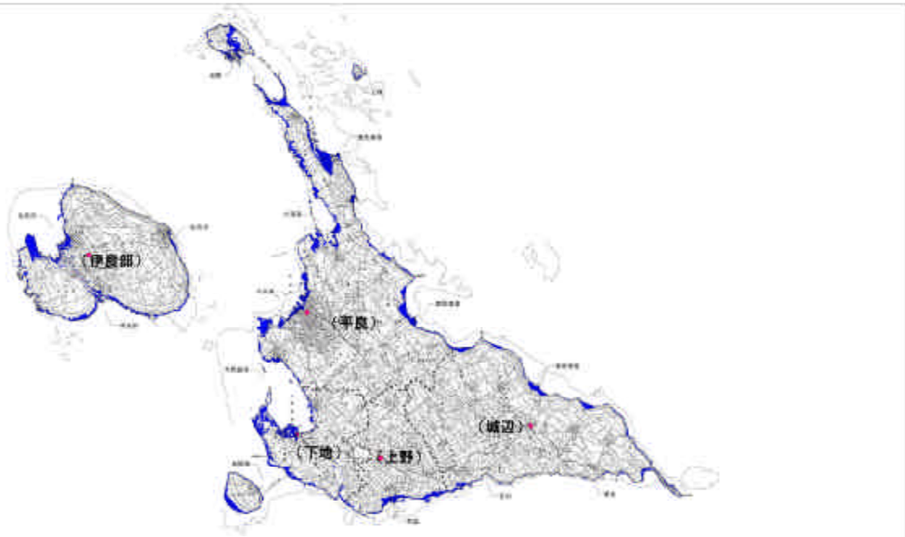
■下記の9つの津波を想定地震津波とし、市町村ごとに影響が大きい3つの津波を選定し、それぞれの津波ごとに、海岸構造物が「効果あり」・「効果なし」の2パターンのシミュレーションを行ないました。（市町村毎　全6ケース　想定地震津波3つ×海岸構造物の効果ありなしの2パターン）
■この図には、市町村毎に全6ケースの最大の浸水範囲を示しています。
■上の表には、代表する地点周辺における3つの想定地震津波の最大遡上高（注1）および影響開始時間と津波到達時間（注2）を表示しています。
■地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、遡上高が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があります。

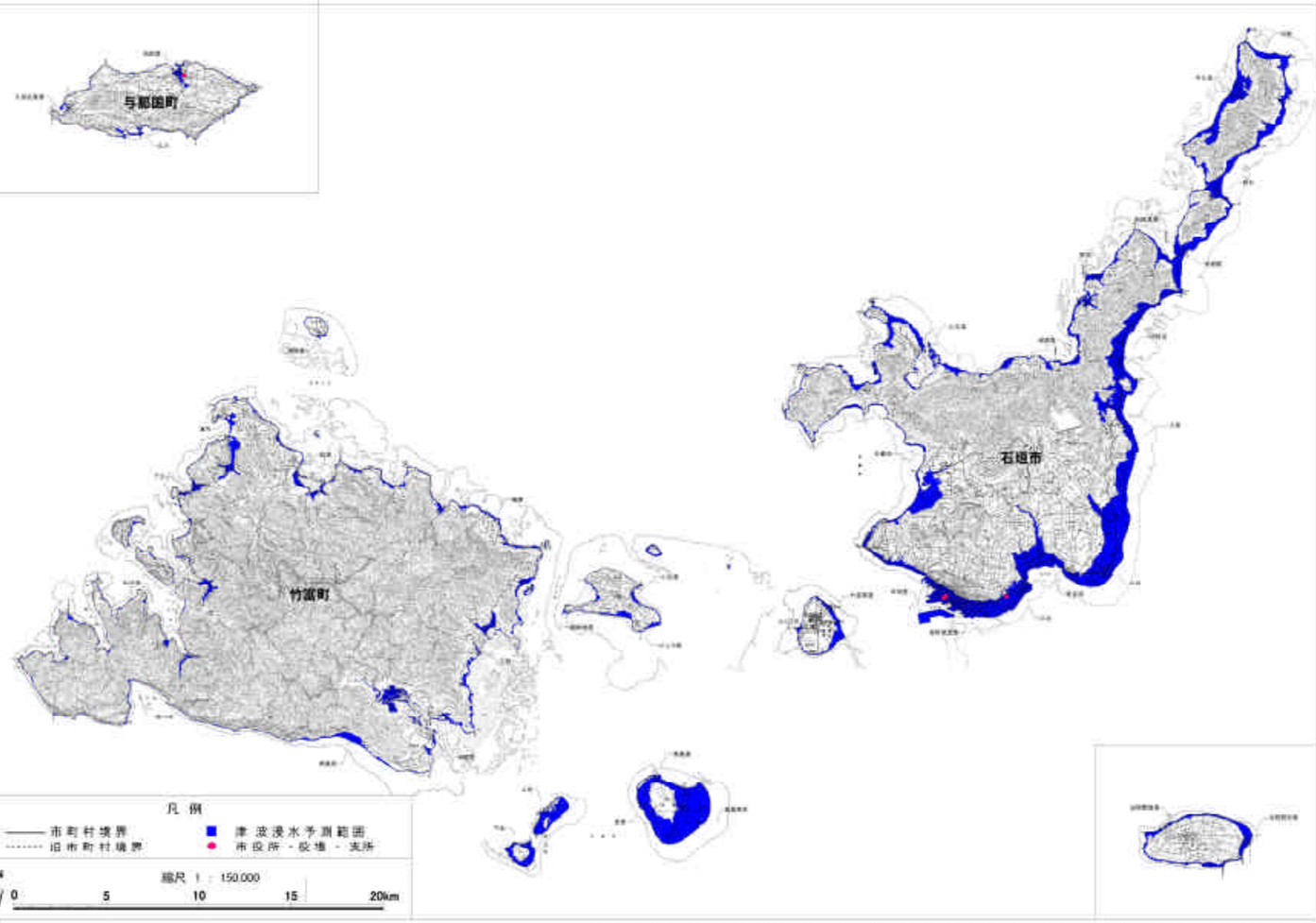
［シミュレーション条件］
（1）想定地震
①宮古島東方沖の想定地震
②宮古島南東沖の想定地震
③宮古島西方沖の想定地震
④石垣島東方沖の想定地震（1）
（注）八重山諸島に大きな津波が来襲するタイプ
⑤石垣島東方沖の想定地震（2）
（注）宮古・八重山諸島に大きな津波が来襲するタイプ
⑥石垣島南方沖の想定地震
⑦石垣島北西沖の想定地震
⑧与那国島北方沖の想定地震
⑨与那国島南方沖の想定地震
（2）海岸構造物
効果あり：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設が、全て有効に機能したケース。
効果なし：　防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防など施設の機能が失われたと想定したケース。
（3）潮　　位：　朔望平均満潮位
（大潮時（朔・望）の日から前2日後4日以内に現れる各月の最高満潮面を1年以上平均した水面）





※注1　最大遡上高と浸水深（図1参照）
最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高です。
なお、多良間村水納島の遡上高については、浸水深（浸水標高）を表しています。
浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
※注2　影響開始時間と津波到達時間（図2参照）
影響開始時間は、地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化（初期水位から水位変化が±20cm）が生じるまでの時間です。
津波到達時間は、地震発生から、津波第一波のピークが海岸に到達するまでの時間です。
※注3　津波シミュレーションは、最小メッシュサイズを10mメッシュで実施しているため、堤防などにある狭い開口部や小さな河川や水路などの詳細な微地形は反映されないなど、必ずしも現況地形と一致するものではありません。そのため、浸水しないと予測された地域であっても、実際には浸水する可能性もあります。また、既存資料等による1771年明和大津波の痕跡記録については、市町村別図・詳細地区別図に記載しています。





「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平19総複，第659号）」